

NSW

この国の未来を、IoTで変えていく。



株主通信

第52期 報告書

2017年4月1日 → 2018年3月31日

日本システムウェア株式会社

証券コード：9739

Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第52期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しつつも、米国の政策動向や東アジアの地政学的リスクなどによる海外経済の不確実性の高まりなどにより、先行き不透明な状況で推移しました。

情報サービス産業界におきましては、企業のIT投資は堅調に推移しており、デジタルトランスフォーメーションの実現を加速するIoT、ビッグデータ、AIの活用拡大をはじめ、働き方改革の推進と人手不足を補うと期待されるRPA (Robotic Process Automation) など新たな分野への展開も本格化しております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画において事業変革を加速する「DriveInnovation」をスローガンに掲げ、「IoT分野の事業拡大」、「コア事業の顧客基盤強化と高付加価値化」に取り組んでおります。NSWグループの総合力と技術融合により、お客様のビジネスにイノベーションをもたらす価値創造パートナーとして持続的成長を遂げる企業を目指してまいります。

これらの結果、当連結会計年度の業績につきましては、受注高は348億32百万円（前年同期比7.6%増）、売上高は335億2百万円（同9.2%増）、営業利益は29億40百万円（同23.0%増）、経常利益は29億75百万円（同21.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億65百万円（同21.3%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月



代表取締役執行役員社長
多田 尚二

Business Segment Overview

連結部門別事業の概況

ITソリューション

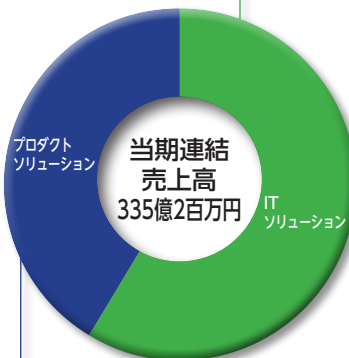
58.7%

売上高につきましては、ソリューション事業における金融・保険業向けシステム開発、ならびにWEB・ECサービスなどが増加し、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増などにより、増益となりました。これらの結果、受注高は208億81百万円（前年同期比6.0%増）、売上高は196億78百万円（同6.2%増）、営業利益は11億25百万円（同5.5%増）となりました。

プロダクトソリューション

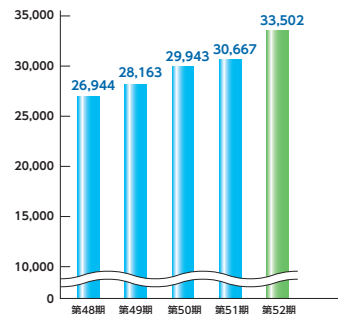
41.3%

売上高につきましては、デバイス開発事業、ならびに組込みソフトウェア開発事業におけるオートモーティブ分野、設備機器分野などを中心に堅調に推移し、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増、生産性向上などにより、増益となりました。これらの結果、受注高は139億51百万円（前年同期比10.0%増）、売上高は138億24百万円（同13.9%増）、営業利益は18億15百万円（同37.2%増）となりました。



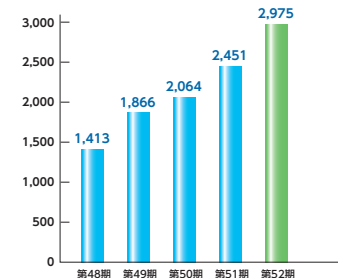
売上高

(単位：百万円)



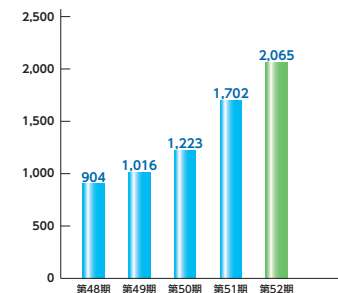
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



Financial Statements

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当期末 2018年3月31日現在	前期末 2017年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	17,005	14,109
現金及び預金	6,601	4,852
受取手形及び売掛金	8,919	7,658
商品	153	259
仕掛品	687	755
貯蔵品	2	2
繰延税金資産	418	397
その他	227	182
貸倒引当金	△5	—
固定資産	8,363	8,563
有形固定資産	6,544	6,786
無形固定資産	156	78
投資その他の資産	1,662	1,698
資産合計	25,369	22,673
[負債の部]		
流動負債	5,917	4,836
固定負債	2,138	2,288
負債合計	8,056	7,125
[純資産の部]		
株主資本	17,311	15,543
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	11,725	9,957
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	1	4
純資産合計	17,312	15,548
負債及び純資産合計	25,369	22,673

■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	33,502	30,667
売上原価	27,498	25,280
売上総利益	6,004	5,386
販売費及び一般管理費	3,063	2,996
営業利益	2,940	2,390
営業外収益	41	64
営業外費用	6	2
経常利益	2,975	2,451
特別利益	39	25
特別損失	4	1
税金等調整前当期純利益	3,010	2,475
法人税、住民税及び事業税	900	791
法人税等調整額	43	△18
親会社株主に帰属する当期純利益	2,065	1,702

POINT

●総資産

総資産は、253億69百万円となり、前連結会計年度末比26億95百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の減少(2億42百万円)があったものの、現金及び預金の増加(17億49百万円)ならびに受取手形及び売掛金の増加(12億60百万円)があったことによるものであります。

●総負債

総負債は、80億56百万円となり、前連結会計年度末比9億30百万円の増加となりました。これは主に、買掛金の増加(1億74百万円)、未払消費税等の増加(1億90百万円)、その他の流動負債に含まれる前受金の増加(1億87百万円)、及び退職給付に係る負債の増加(1億32百万円)があったことによるものであります。

●純資産

純資産は、173億12百万円となり、前連結会計年度末比17億64百万円の増加となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ0.4ポイント減少し、68.2%となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,289	1,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298	△372
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,741	1,295
現金及び現金同等物の期首残高	4,852	3,557
現金及び現金同等物の期末残高	6,593	4,852

POINT

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、22億89百万円（前年同期比3億79百万円の収入の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益30億10百万円に対し、売上債権の増加等に伴う運転収支の減少額6億71百万円、減価償却費4億96百万円があったことに加え、法人税等の支払額7億65百万円、役員退職慰労引当金の減少額3億8百万円があったためであります。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2億53百万円（前年同期比20百万円の支出の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億56百万円によるものであります。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、2億98百万円（前年同期比73百万円の支出の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額2億97百万円によるものであります。

■ 連結株主資本等変動計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	5,500	86	9,957	△0	15,543	1	15	△12	4	15,548
当期変動額										
剰余金の配当			△297		△297					△297
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,065		2,065					2,065
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						0	2	△6	△3	△3
当期変動額合計	—	—	1,767	△0	1,767	0	2	△6	△3	1,764
当期末残高	5,500	86	11,725	△0	17,311	2	18	△18	1	17,312

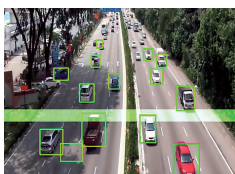
AI分析ソリューション「Toami Vision シリーズ」の提供を開始

当社の注力事業であるIoT分野では、お客様の関心はデータの収集・見える化から蓄積したデータの活用へと広がってきています。そこで当社では、IoTセンサとAI分析を活用し、特定のモノや動きを認識する分析ソリューション「Toami Visionシリーズ」の提供を開始しました。IoT化が進む中、画像解析分野は大きな注目を集めており、様々なモノ・コトの認識が自動化されています。これまで数値化が難しいとされてきたモノ・コトを、カメラや加速度センサを利用したIoTセンサをインターネットにつなぐことで可視化し、AIシステムによりリアルタイムで分析します。

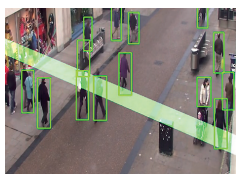
ToamiVision

CityVision (シティビジョン)

街中にどれだけの「人」が存在しているのか、どのくらいの「車」の交通量があるのかを可視化。結果をリアルタイムにお客様に提供し、交通量調査などの長期間・深夜作業を支援。



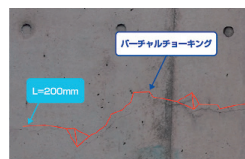
車のカウント



人のカウント

CrackVision (クラックビジョン)

構造物のひび割れの長さや幅を、DeepLearningにより機械学習したAIエンジンによって判定。用途に応じた最適な処理方法により、高精度かつ効率的に現場作業者を支援。



エッジデバイス処理



クラウド処理

MotionVision (モーションビジョン)

ウェアラブルセンサを身に付けた人の動作を遠隔で把握し、作業日報や勤怠記録を自動記録。介護サービスや荷物運送など様々な業種業態における業務全体の効率化を支援。

業務中はアプリを起動しておくだけで、AIが業務実績を記録

日報記録や、勤怠記録としてレポート出力

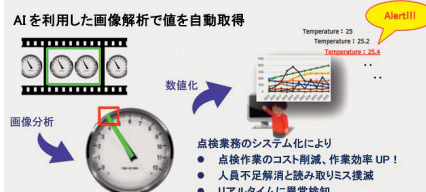
ベテランの業務実績を参考にして、全体の効率を向上

記録はインターネットでどこからでも閲覧可能



MeterVision (メータービジョン)

工場や倉庫などの各種設備の点検業務において、アナログメーターの値を自動で測定・分析。点検作業における精度や作業スピードを向上し効率化を支援。



「Toami Vision シリーズ」は、アプリケーション、IoTプラットフォームのみならず、無線やセンサー技術をはじめとする組み込みアプリからLSI設計まで、IoTサービスに必要な要素を全てカバーする技術力とコーディネート力から生まれたサービスです。

今後もNSWグループは、IoTクラウドプラットフォーム「Toami」やAI分析ソリューション「Toami Vision シリーズ」をはじめとする革新的なIoT&AIソリューションを提供し、お客様の価値向上の実現に貢献してまいります。

Corporate data

会社情報

会社の概況

(2018年3月31日現在)

商号	日本システムウェア株式会社
設立	1966年(昭和41年)8月3日
本社	東京都渋谷区桜丘町31番11号
資本金	55億円
代表取締役	執行役員社長 多田 尚二
従業員数	2,089名(連結)
取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社山梨中央銀行
主たる 関係会社	NSWテクノサービス株式会社 京石刻恩信息技术(北京)有限公司(NSW China Co.,Ltd.) NSWウィズ株式会社 日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社
事業拠点	渋谷 山梨 名古屋 大阪 広島 福岡 北九州

役員構成

(2018年6月27日現在)

代表取締役 執行役員社長	多田 尚二	執行役員 常務	長正 聡
取締役 執行役員副社長	桑原 公生	執行役員 常務	阿部 徳之
取締役 執行役員専務	大田 亨	執行役員 常務	山口 真吾
取締役 執行役員常務	小関 誠一	執行役員 常務	板山 可成
取締役 監査等委員	衛藤 純二	執行役員	中山 寿人
取締役 監査等委員(社外)	小谷野幹雄	執行役員	小山 文雄
取締役 監査等委員(社外)	鹿島浩之助	執行役員	市川 照明
		執行役員	竹村 大助
		執行役員	鈴木 晴雄
		執行役員	西郷 正宏

株式の状況

(2018年3月31日現在)

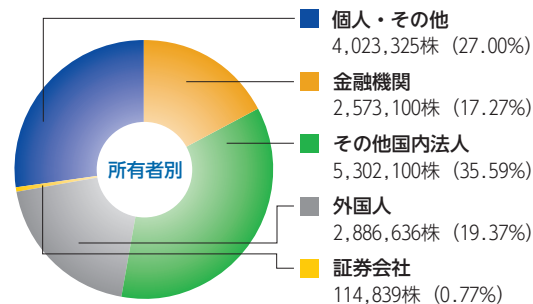
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	14,900,000株
株主数	3,044名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株タグ・コーポレーション	5,000	33.55
多田 修人	1,537	10.31
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,227	8.23
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	700	4.69
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	473	3.17
多田 尚二	314	2.11
多田 直樹	300	2.01
日本電気(株)	294	1.97
RE FUND 116-CLIENT AC	254	1.70
日本システムウェア従業員持株会	204	1.37

※ 持株比率は自己株式(322株)を控除して計算しております。

株式分布状況(株式数構成比)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
公告掲載URL <http://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、
日本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店でなっております。

ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新情報、業績情報などを掲載しているほか、アナリスト向け決算説明会の資料など、当社をご理解いただくための情報提供の充実に努めております。また、CSRへの取り組みについてもご案内をしていますので、どうぞご覧ください。当社は、今後も株主の皆さまへの積極的な情報発信に努めてまいります。

住所変更、単元未満株式の買取等の お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行なう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行なう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。



当社は個人情報管理の社内の仕組みの構築、実施、維持改善活動を行ない、個人情報を正確かつ安全に取り扱うことにより、社会の信頼に応えてまいります。



2007年より、当社は「両立支援（従業員の子育て支援）に積極的に取り組む企業」として、厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づく認定を継続して受けております。

[ホームページ] <http://www.nsw.co.jp/>

